

■ 2023年度 事業計画 相談支援事業所なないろ（相談支援）

はじめに	<p>コロナウイルス感染症の影響が丸3年も続いています。その中で相談系の会議も少しずつ開催されてきてはいますが、十分な情報交換・課題解決の場とはなっていないようです。今年度は利用者の方の入所施設やグループホーム入所の動きが目立ちました。各ご家庭の中で今まで支えてきた親御さんの高齢化や片親となり負担感が増してきた中で、利用のニーズが高まってきたものと思われれます。他にもニーズの高い方がおられるので今年度もグループホーム入所へ向けて、情報収集とマッチングに努めていきます。</p>
事業所の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の生まれ育った場所で、自分らしく生活するためのお手伝いをします。障害があっても、様々な手助けや支えを得て、自分の求める暮らしを一緒にデザインしましょう。</li> <li>・いろんな願いや困りごとを一緒に考えていきます。今すぐ出来ること、何年も準備して出来ること、たくさんの人の協力で出来ること、一緒に話をして、考え、作戦を立てて行動しましょう。</li> </ul>
事業所運営	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 計画相談、一般相談に対応しています。サービス計画作成を月に5名、モニタリング報告書作成が月に15名程度のペースで行っていきます。</li> <li>2) 昨年度の認定調査は、調査員不足のため下半期は未実施。極力対応していきたいと考えます。</li> <li>3) 相談職員の世代交代の時期が来ています。交代要員の募集・養成を進めます。</li> </ol>
利用者支援	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 計画相談対象者（身体介護、短期入所利用）のモニタリング頻度が、6か月に1回から3か月に1回に増えました。モニタリングの記述内容の検討、簡素化を図っていきます。</li> <li>2) 計画相談対象者現在数82名。ライフステージに応じた相談支援を目指します。</li> <li>3) コロナウイルス感染症が3年連続で大きな影響を与えています。相談は事業所訪問や家庭訪問を中心に行っていますが、今年度は積極的にリーチアウトの対応を心がけていきます。</li> </ol>
今年度重点目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 計画作成やモニタリング報告作成時に、本人と顔を合わせ、意見や思いをくみ取る姿勢を大切にします。（継続）</li> <li>2) グループホーム等に入所した方々のアフターフォローに力を入れていきます。</li> </ol>
活動計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) サービス計画作成時等、放課後児童デイサービス事業所や移動支援事業所、養護学校への訪問を計画的に実施する。（継続）</li> </ol>

	2) 成人期の対象者だけではなく、意識的に幼児・児童の計画等にも積極的に関わっていく。
相談・対応 計画 (豊かな生活)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人暮らし対象者への成年後見制度利用や、生活保護制度利用などを意識して調整をする。傷病時等の対応について関係者のネットワークを形成する。</li> <li>・自宅に引きこもっておられる方との関わりについては、継続的な関りを大事にしていく。</li> <li>・自宅での生活から、グループホーム等の地域での生活に、スムーズに移行できるように、情報の収集とマッチングを大切にする。(継続)</li> </ul>
その他 ・ケース会議 ・ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害と暮らしの支援協議会に参加</li> <li>・相談支援事業所意見交換会に参加</li> <li>・施策検討連絡会生活支援部会に参加</li> </ul>
利用者の 状況	1) 計画作成対象者 (83 名) <ul style="list-style-type: none"> <li>・うち法人内 37 名、法人外 46 名</li> <li>・うち成人 81 名、児童 3 名</li> </ul>
職員の 状況	1) 管理者、相談支援専門員 (兼務) 1 名 2) 認定調査調査員 (兼務) 1 名